

●その場でわかる迅速診断キット

最近、小児科の診察室に入ってくる子供の姿に非常に強い警戒心を見るものが多くなってきました。何に対する警戒心がお分かりでしょうか？

病気診断のための鼻、口を通じての検査です。綿棒を突っ込まれることへの痛み、恐怖心です。昔は注射に対するものが主でしたが、今や鼻に口に突っ込まれることも加わり、子供にとっては受難小児科外来となっています。中には綿棒を見るやいなや診察台で抵抗する子供の姿が見掛けられることもあります。その都度抑え込んで強引に作業するわけですから、まるで虐待現場と見誤られてもおかしくない光景です。でもそこから得られる情報は、子供にとつて有意義なものも多く、その場で還元されますから止めることはできません。

ではその検査にどんなものがあるか挙げてみましょう。インフルエンザウイルス、アデノウイルス、RSウイルス、ヒトメタヘモウイルス、マイコプラズマ、溶連菌。これらは咳、鼻汁、発熱症状を主とする病気でインフルエンザ、溶連菌を除いては肺炎を起こしやすいとされます。

インフルエンザ、マイコプラズマ、溶連菌の検査結果では効果のある治療薬を選ぶこともできません。診断が付けば病状の流れも分かり、安心して経過を診ることもできます。

その他の迅速診断に、下痢症状のときに、便で判断するロタウイルス、ノロウイルス、アデノウイルスもあります。これら迅速診断は、痛み、恐怖心を差し引いても子供たちにメリットのある検査ですから、何かと外来現場では重宝され、多用される時代となっています。

ただし保険で使用する場合には細かい制限、年齢、病状制限が付いていることもあり、かかりつけの先生とよく相談してみましょう。

また幼稚園、保育園の先生から過度の検査指定を受ける事がありますが、状況によってはできないこともあり、迅速診断を上手に使うことで子供の笑顔、健康を。

【岩国市医師会】

旬の野菜をおいしく頂く

ホウレンソウの白和え

材料（4人分）

- ・ホウレンソウ…1束
 - ・ニンジン…1/2本
 - ・干しシイタケ…2枚
 - ・シイタケの戻し汁…100cc
 - ・木綿豆腐…150g
- | | | |
|---|---|--------------|
| A | { | ・砂糖…小さじ1 |
| | | ・しょうゆ…大さじ1/2 |
| | | ・酒…大さじ1 |
| B | { | ・すりゴマ…大さじ2 |
| | | ・砂糖…大さじ1・1/2 |
| | | ・塩…少々 |
| | | ・みそ…大さじ1/2 |

●エネルギー 98kcal/人 ●塩分 0.7g/人

作り方

- ①木綿豆腐はキッチンペーパーに包んでざるに乗せ、しばらく置き水気を切る。
- ②ホウレンソウはさっとゆでて冷水にとり、水気を絞り3cmの長さに切る。
- ③ニンジンは3cmの長さの短冊切りにする。干しシイタケは水で戻して薄く切る。戻した汁はとって

食推さんの

食べてみんさい

おいしいけえ！



おく。

- ④鍋にAと③、シイタケの戻し汁を入れ、弱めの中火で軟らかくなるまで煮て、冷ましておく。
- ⑤ボウルに①とBを入れてよく混ぜ、②と軽く汁気を切った④を加えて和える。

レシピ提供：岩国市食生活改善推進協議会